



ながはし

<学校教育目標> かしこく なかよく たくましく

【目指す学校】

一人一人の子どもを主語にする学校



長橋小HP

暑さ対策 子ども目線で

校長 安達直樹

今年の夏も

私が子どもだった頃は、真夏でも、夜になると涼しくなって、窓を開ければ「暑くて眠れない」なんてことは一度もなかったような気がします。そして、年に1回くらいは近くの海水浴場へ行きましたが、海水は結構冷たかった記憶があります。短い夏はあっという間に終わり、お盆が過ぎ、気付いた時には涼しい風が吹いていてあっという間に秋になっていました・・・。

ところが、最近はというと、運動会の時期からもう暑い日があったり、寝苦しい夜が続いたり、お盆を過ぎてても海水浴ができたりと、北海道も「夏」の期間が長くなったように思います。

気象庁の統計でも、5月から9月までの平均気温が、すべて一昨年より昨年の方が高くなっているという結果が出ていましたので、実際に暑い期間が長くなっているようです。そして、今年も、太平洋高気圧の影響などで、長い期間、暑くなると予報が出ています・・・。



熱中症について

今年の4月から、一日の最高気温が40℃以上になった日を「酷暑日」と呼ぶことになりました。それだけ、夏の暑さが厳しさを増しているということになります。北海道も例外ではなくなってしまったので、「熱中症」への警戒を長期間しなければいけなくなっています。

私たちの体は、通常、体温を上げないように調整する機能があって、36℃くらいに保たれています。運動などによって身体の水分が減少したり、汗をかいたりすると身体の血液が減り、血の巡りが悪くなることで「熱中症」になるそうです。近年流行っているサウナや高温での長風呂も、我慢して長時間入っていると、熱中症と同じような症状を発症する「浴室熱中症」となる



ので注意が必要だそうです。また、「熱中症」は人間以外もかかるようで、犬や馬なども熱中症にかかることが分かっています。

現在、長橋小では、図工室などの特別教室を除く各教室にはエアコンが設置済みですので、長い夏の期間は積極的に使用して、お子さんたちが快適に過ごせるようにしてまいります。また、「のどが渇く前に飲む」を基本に、水分補給についてもしっかりと行い、熱中症予防に努めてまいります。屋内外での活動については、私たちの体感だけではなく、各階や体育館などに熱中症指数モニターを設置したり、環境省の「熱中症予防情報サイト」から「暑さ指数」（数値により屋外での活動などの適否が示されるもの）や「熱中症警戒アラート」（熱中症の警戒レベルが示されるもの）の情報を活用しながら、お子さんの健康を第一に考えて、学校として適切な判断をしてまいります。



◎大型連休があった今月、1年生もずいぶんと学校生活に慣れてきました。以下、今月の様子について簡単にお伝えします。

・5/15 全校で遠足に行きました。

さわやかな5月晴れの空の下、全校で遠足に行きました。目的地は「長橋なえぼ公園（1年生）」や「塩谷海岸（6年生）」と、それぞれ学年に合わせた距離を歩きました。幸いなことに大きな事故やケガもなく、全員が無事に行って帰ってくることができました。また、PTAの1人1サポートで3家庭4名の方々にご協力をいただきました。お忙しい中を本当にありがとうございました。各学年で楽しいひとときを過ごしました。



・5/20&5/25「運河ロードレース練習会」がありました。

6月21日（日）に行われる第38回運河ロードレース大会に向けた練習会がありました。本校は12名の児童が大会に参加しますが、練習会には多くの児童が集まり、体力向上に向けてグラウンドを走りました。練習会は6月12日（金）にも行う予定です。

昨年度と同様に、ロードレース本番には参加しない児童であっても練習会には参加することができます。自分のペースで運動にとりくみ、体力をつけるために参加しても大丈夫です。身体を動かしたいと思った皆さんの参加を待っています。

・5/27 運動会総練習がありました。

1年生は初めての、6年生は最後となる運動会が、いよいよ今週の30日（土）に迫ってきました。27日の総練習では、「心は1つ 勝利の嵐を巻き起こせ！」のスローガンの下、全校が赤群と白群に分かれて取り組みました。「練習」と名はついていますが、雰囲気は本番そのもの。勝利を目指し真剣勝負を繰り広げました。その結果、「260点 vs 230点」で、白群が昨年の雪辱を果たしました。本番も白群が勢いそのままに勝利を手にするのか。あるいは赤群が巻き返すのか。どちらも最後まで頑張ってもらいたいと思います。

